

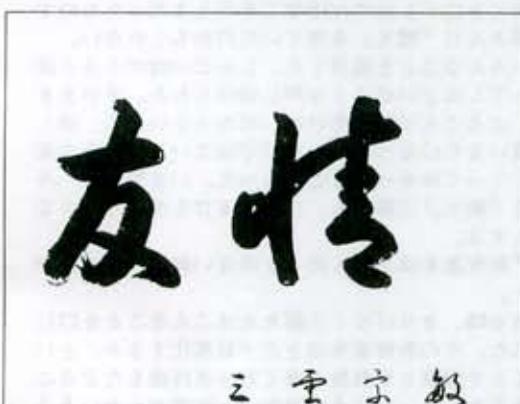


会報・第8号

北陽高等学校
同窓新聞
1987. 8. 6. 発行
編集発行
会報委員会
委員長
藤井 文太郎

故 三雲校長追悼特集

母校中興の師・三雲宗敏校長は昭和62年1月14日
79才の生涯に終止符を打たれました。



昭和45年度卒業アルバムに書かれた錢けの一書



在りし日の三雲校長

●先生の略歴

昭和24年2月15日	財団法人福武学園北陽商業高等學校校長兼同學園専務理事に就任	昭和49年4月1日	大阪青山短期大学教授に就任
△ 24年4月1日	財団法人福武学園北陽高等學校校長兼同學園専務理事に就任（名称変更による）	△ 54年4月1日	学校法人大阪青山学園専務理事兼任
△ 26年3月12日	学校法人福武学園北陽高等學校校長兼同學園専務理事に就任（組織変更による）		
△ 43年4月1日	名古屋学院大学経済学部兼任教授に就任	(関係団体歴)	昭和29年4月1日 大阪府私立高等学校体育連盟副委員長に就任
△ 48年2月1日	学校法人大阪青山学園専務理事に就任	(賞 帰)	昭和40年5月3日 大阪府知事表彰（私学振興功劳）
			△ 45年11月20日 日本国会議研究学会太田賞受賞
			△ 62年1月14日 従五位勳四等旭日小綬章

謹んで先生の御冥福を祈ります

三雲先生の弟さん、三雲宗信君は小生の北陽同級生、共に学んだ仲、又三雲先生の妹さんの御主人、安川先生は北陽で私の漢文作文の恩師で、いつも三雲先生は近い方との思いと平素は親しみと尊敬の念が一杯でした。

30年前、千里ニュータウン建設の計画当時、北部に高校誘致の案あり、北陽の分校は如何、吹田へどうですか、と話をした事を思い出します。目をパチパチさせて、とんでもないと言われた。その当時一般の方々はどの様な新しい町が出来るか想像もつかなかつた事でしょう。その用地は今の「金蘭短大」附近、三雲先生と私の話が前に進んでおれば北陽の歴史は大きく変わっておった事でしょう。

常日頃いろいろと無理な事をたのんだ事がありましたが総てOK、いやなお顔もなさらずに、いい先生惜しい先生を亡くして心残り、御健在時の三雲先生の御姿を思いつつひたすら御冥福をお祈り致します。

(12回卒 北陽同窓会副会長 阪本隆夫)

私は先般突然の三雲先生の死去に際し同窓会を代表して葬儀に参列して参りました。

時は無心に流れ人はその時の流れにそれぞれの歴史を作っています。

木造だった校舎はすっかり鉄筋コンクリートに変わり狭隘をかこっていた運動場も第2グランドの建設により広がり、生徒数も年々増加し、思えば変わったものであるとよく言われました。母校北陽がここまで発展したのも一つに先輩達が嘗々として基礎作りに専念された事と、三雲校長の愛と勇気に満ちた挺身の努力がこれを助けて今日を榮き上げたと言っても過言ではありません。

言うまでもなく先生は20有余年も母校に校長として勤められた大先生でした。この事は北陽にとって何としても有難いことではなかったでしょうか。その光景には何とも言えない悲しみがありました。いつも本校の建学精神「知・徳・体の調和」という理念に対して一歩でもこの理想に近づくべく一層の努力を傾倒しなければならぬ事を痛感すると言わっていました。そのことを私は今、頭の中に想い描きつつひたすら先生のご冥福をお祈り申し上げる次第です。

(昭和26年卒 同窓会副会長 福島嘉雄)

教師を1名募集するという三行広告が新聞の片隅に載っていた。量めしを済ませてから、のこのこ出かけていった。

「午前中で面接試験は終りました」

女事務員の一人は氣の毒そうに応対してくれた。それも道理で、もう採用する人も決まっていたそうだ。

それでも

「校長と教頭はまだ残っていますから、とにかく

話だけは通してみましょう」

と、いうことになった。うれしかった。

校長室へ通された。おもむろにお辞儀をして履歴書を差し出した。その時、横から

「わたしが校長です」

と、大きな手がのびてきた。

下座の教頭を校長だと決めてかかった自分もうかつだったが、その頃の三雲さんは、おおよそ校長らしくない校長だった。好感が持てた。

「せめて1年はいてください。そうでないと、生徒がかわいそうですから……」

その1年が、もう40年近くにもなる。大学の口が6つほどかかってきたが、何となく「三雲さん」に引き付けられて全部断わってしまった。えらいことをしたなア、といまもまだ時どき思う。

親父を亡くしたのが中学二年のときだったもので三雲さんに「親父」を見ていたのかもしれない。

いろんなことを進言した。しんどい時がくると決まってしんどいポストを押し付けられた。それをまた、ようこんで引き受けた。だからといって、決して言いなりになっていたわけではない。目の色を変えてくってかかったこともあった。いま思えば、みんな「親父」「三雲さん」に対する甘えだったような気もする。

「教育基本法も読んだことのない教師がいるんですねア」

ある時、さりげなく三雲さんはこんなことを口にされた。その教育基本法をどう日常化するか、ということで理事と平教員の考え方は並行線をたどることは多かった。が、「そうでないと生徒がかわいそうですから……」という三雲さんのこと、教育基本法の理念はよく理解されていた、と思う。それだけにつらい立場を人にも言わず、じっと耐えておられた三雲さんが、ときにはいじらしく思えたりした。

その三雲さんが逝かれてもう半年。思えばあの頃の青年も、もう学校を去っていく歳になった。あの世でも、現世での立場を離れた三雲さんとは、やはり並行線をたどることが多いだろうか、と思うこの頃である。

(母校教諭 杉浦慶之助)

私が先生とはじめてお会いしたのは約30年前の昭和31年、北陽高校に入學してからです。入學後先生に直接にお話をうかがうことはほとんどありませんでした。直接先生とface-to-faceでお話したのは卒業後ではないかと思います。

即ち在学中は先生は旧校舎(木造)の職員室におられて、ほとんど近寄りがたい存在がありました。しかし時に朝礼かなにかでお話しを聞くことがありました。その時できえ何となく貴公子然とした立派なgentlemanのように見えましたが、話の内容はすぐれた、本当に生徒思いの教師、教師とはこう

あるべきだとは後年私自身が教師という職に就いてはじめて自覚したのを思い出し、その跡をたどれば先生の姿がかさなってきます。

直接先生からお話をし、お話しとは言えるかどうかわかりませんが、直接お言葉をかけられたのは卒業の時何か表彰を受けることになった時（何で表彰を受けたのか忘れましたが）職員室か講堂かで、「貴島君は将来何になるのか将来の希望は」その他諸々の事を聞かれたのがはじめてだと思います。

校長というものは生徒ひとりひとりにはほとんど気にかけず学校全体の事を配慮すればよい、一生徒のことなどどうでもよいと思っていた私には大変な驚きで、その時どのように返答したのか全く記憶にありません。

さらに卒業後大学に入り、私も一人の先輩として後輩の大学進学の為に微力ながらお手伝いをしたいと、大学入学後3年ぐらいたる高校にしばしば訪れては先生とよくお話しをして、最後には必ずと言って言いほどに「貴島君後輩のことよろしく」とおっしゃって、いつも生徒のことばかりが頭にあった眞の教育者の姿が昨日のように思い浮べられます。（合掌）

（34年卒 芦屋大学教授 貴島正秋）

私が北陽高校で3年間学んで、一番印象に残っていることは、三雲校長先生の、親しみやすい人柄と共に生徒に教えておられた「知徳体の調和」と言う本校の建学精神でした。その教えを今でも時々思い出し自分自身の精神の向上につとめています。

思いかえせば、入学当時一年生は、円型校舎で授業を受けていましたが、新館で学んでいる先輩をうらやましく思ったものです。又、頭髪問題では、校長先生を大変悩ましましたが、先生の暖かいご配慮で長髪が許され、生徒一同大喜びしたのも、今は懐しく思い返されます。

また、卒業式当日総代に選ばれ、さらに大阪府知事賞を三雲先生より授与されたのも忘れられない思い出です。

光陰矢の如しと申します。近代的な新校舎も建設され大きく発展していると聞いています。

これもみな、先生が校長として、長年努力をされたからだと痛感しております。今は亡き先生の思い出を胸に、ご冥福をお祈り申し上げます。

（45年卒 商工中金奈良支店 浜畠久次）

1月14日午後林校長より前校長三雲氏急逝の電話あり時を移さず先づ市岡高校同窓諸氏に電話、遠くは広島在住の森君、白浜の渡辺前町長、あとはパラック会（大正14年卒業生）の名簿を便りに逐次電話するのにかなりの時間を要したが一応翌15日午後6時半から西宮の楠公館での御通夜にも遅がけ乍ら参加。翌日の告別式には市岡高校での同窓で小生と同じ董池在住の小田君、吹田の藤平君の三人は市岡入学当時の同級生で誘い併せて定刻に到着。かなり広い会場も殆ど空席無く場外の空地に天幕を張って参加者の席を設けていたが中には北陽OBの阪本吹田市議初め同窓の佐治建設社長代理として北陽OBの

中田、木田、北田諸君の顔も見え皆久しう振りの邂逅で立ち話も多く、故人には悪いが昔を偲ぶ同窓会の様な感あり。三雲氏と小生とは大正9年4月市岡中学（現市岡高校）に入学当初、同じクラスに編入されて以来の奇しき縁であった。

中学1年の時に列長（級長の次の成績の者で第1から第6まであった）になった事もあり成績は常に上位10番以内にいた様である。色は浅黒いが面長の美少年で眼は大きく輝いていた。クラス対抗の800メートルレースでは小生も4人の走者のメンバーに加えられ、其の時私達のチームが優勝し担任の大森義尚先生（後に兵庫県立赤穂中学校長）に褒められた事もあったが三雲君は何時の間にか野球部に席をおいたり陸上競技部に入部して槍投げの当時の記録を更新したりして断然頭角を表わし当時の二年先輩の橋本氏の後を追って山口高校に入学、卒業当時経済パンツで就職もままならず母校市岡で体育の教師をし、さらに神戸大学にすすまれ、卒業後満鉄に入社して渡溝、部長級まで順調に進み将來を嘱望されたが同地で夫人（市岡同窓の政山氏の妹）に病死され間もなく第2次世界大戦での日本の敗戦となり、帰国24年に北陽商業高校（現北陽高校）第5代目の校長として赴任。昭和47年3月末、辞任まで20有余年間に木造校舎から当時流行し始めた円型校舎（兵庫県の今津中学）（大阪では四天王寺高校梅花高校）を校舎前の幼稚園あとに建設更に旧木造校舎を取り壊して4階建の鉄筋コンクリート校舎を新築、生徒数300名前後の経営難時代から現在1600名を収容する大型5階建で関西でも最高の設備を誇る新校舎。更に之より先この広大な新幹線に沿って其の南側のグランドを開発、野球部も近大より松岡監督を迎えて硬式野球部も過去淡路校舎時代に同じ淡路の浪商に迎えられ放しであったのが実力をつけると共に之が逆転してPL北陽時代を現出し殊に45年春の全国大会では優勝戦まで甲子園に勝ち残り箕島高校に延長戦で惜敗したものの全国に北陽の名声を轟かしたもの痛快事であった。これまた、三雲君の残した大きい功績の一つである。

北陽高校退職後に令嬢の嫁ぎ先の箕面の青山短大の塙川学園長の要請により同学園の理事として経営にも参加、79才の老駆乍らも自宅西宮より箕面までを自らの運転で自動車をとばし我々を驚嘆させたものである。一時胃を害して胃を完全に取り除く手術を受け胃癌になる一歩手前で手術に成功胃が除々に元の大きさになる迄相当の苦痛、苦労の末漸く元の状態に戻ったのであった。今度の急逝は胃の手術には関係なく浴後の一寸した事から心臓麻痺で起したものと思われる。何れにしても我々市岡の同期生約120名の中6分の1の20余名が、生存しているのだから長命のクラスと云ってもよい。然しそ中の1名を失う事は生き残った我々にはショックである。

心からの冥福を折ってこの稿を終ります。

（元母校教諭 原田武男）

三雲元校長ご逝去のご通知に接し、驚き入りました。このたびのご急逝は思いもよらずただただご哀悼の意を表わすばかりでございます。

私が在学中、三雲元校長は生徒との信頼関係を大切にされ、相手の立場を理解しようと精一杯努力された印象が強く、そのお姿は北陽高校とともに私の胸にやきついております。

学窓を果たして14年の月日がたち、自己中心的な世の中を生きる今、北陽高校での青春時代がよみがえってまいります。ともすればあの時の若さと情熱を忘れがちですが、三雲校長が私の心の中にまいてくださったお教えや、教育者としての情熱を思い出し自分自身を勇気づけたいと思います。

私の今後の人生も三雲元校長に見守っていただきそして私も三雲元校長のお姿と北陽高校での3年間の思い出をいつも胸に刻みこんで、これから的人生を生き抜いてゆくつもりでおります。

最後になりましたが、謹んで三雲元校長のご冥福をお祈りいたします。

(昭和48年卒 阪急食品工業株式会社 藤井正行)

「よう、元気か」と声を掛けてくださったのはつい先日のことである。正確には母校の創立60周年記念会場のことであるから、約2年前にもなるが、卒業後約40年もたっているから、2年の歳月が先日のように思える。佐藤誠一先生からの三雲先生の訃報に接したときには、その突然さに驚くとともに、太閤園でももっと話を交わしていくべきだったとのざん愧の気持でいっぱいになっていた。

私が三雲先生のご指導を受けたのは昭和24・5年の頃であった。就任式もなにもなかったと思う。校長先生が教室に来られるという知らせに構えていたこともあって今もその時のことを見えていて、かなり鮮明に思い出せる。お世辞にも立派といえぬ校舎の生徒もちらほらとしかいぬ寒々とした教室に、三雲先生が大柄の身体を少し猫背ぎみに曲げて入ってこられた。服はダークのダブルのスーツ、持ち物は黒っぽい風呂敷包みであったと思う。万事が派手好みに映っていた八沢前校長とは対照的であった。それでもまさか校長先生が正課の授業を直接なさることは夢にも想わなかった。ところが風呂敷包から教科書を取り出すと、前置きの言葉もほとんどなく、英語の授業を始められたのであった。その時の驚きと感激はひとしおであった。

英語のテキストはエドガー・アラン・ポーの短篇集で、先ず「黒猫」から読み始められた。この作品集は現在でも普通は大学の教養レベルであろう。そのかなり難解な作品集を、戦後間もない英語に特に弱かった高校生を対象としてなぜ使用されたのであるか。一度おたずねしようと思っていたが、今はもうその術もない。私が思うには、テキスト難で選択の余地が少なかったとか、ポーを愛読しておられたとかの理由を考えうるが、基本的には先生の英語教育への信念からであったろう。英語教育は本物の格調高い作品を生のまま紹介し、その精髓を——文章とテーマを通して英米の文化を教えたいとの考え

を持っておられたからであろう。それにしても思いは高く生徒の力が低かったのでなにかと工夫され、全体でわずか7、8頁の「黒猫」を読むのに約2ヶ月間も費やされた。16、17才の少年にはまともな作品鑑賞が無理であったことはもちろんあるが、先生の情熱ある、ご指導のおかげで、Pluto（冥府の神）という黒猫の象徴的な名前、intemperance（不節制）、perverseness（つむじ曲り）等の鍵になる単語はもちろんのこと、話の筋は曲がりなりにも分ったよう思ったものである。

「黒猫」のテーマは動物いじめや妻殺しにあるのではない。罪の告白でもない。それはアルコール中毒の恐ろしさであろう。主人公が酒に迷げる精神的抑圧の恐ろしさでもある。それを強迫観念ということもできよう。三雲先生の登場人物の心理分析は新鮮であった。

強迫観念の問題は現在でも大切であるが、終戦直後の方がはるかに深刻であった。戦争の大義や忠君愛国的な価値感が、敗戦とともに一朝にして崩壊し自由とか平等とか民主主義とかの新しい価値感が怒濤のごとく入ってきた。アメリカは鬼畜から平和の天使に急変した。タテマエの外的世界がコバルニクス的転回をしても、ホンネの内的世界までそう簡単に変わるものではない。日本人は老若男女を問わず状況の激変に適応するのに必死であった。しかしそれに適応できずに死を選んだり、心理的抑圧に耐えられず「黒猫」の主人公よろしく、メチル・アルコールに逃避した人も多かった。そのような時節に、三雲先生は「黒猫」を通して、心理の動きをそれとなく教えて下さっていたのであった。

三雲先生は私が大学へ進学してからも、その大学の先生の紹介やアルバイトの斡旋までしてくださった。その他いろいろご指導、ご協力をいただいたが「黒猫」の学恩は最たるものである。私が現在、英語と文学となりわいとしているのも、それに負うところが大きいからだと思って仕方がない。三雲先生、タイミング遅れのお詫びの言葉ですみません。ご冥福をお祈りします。合掌。

(昭和27年卒 大阪工大教授 小林信次郎)

ヤンマーディゼル株式会社

取締役東京支社長

栗 田 文 吉

(S 23年卒)

東京都中央区八重洲2丁目1の1

電話 (03) 275-1111

母校の近況

校友の皆様にはご健勝でご活躍のことと存じます。平素は母校のために何かとご協力、ご支援を賜わり、厚く御礼申しあげます。特に創立60周年の記念事業の一つとして、育英制度のための募金をいたしましたところ、同窓生の皆様からは約900万円のご寄附をいただき、深く感謝いたしております。これに学園関係の分を合わせて約2000万円が集まりましたので、目標には及びませんでしたが、一応これを基金として来年度から小規模ながらも予定通り育英事業をはじめて行く所存でございます。

今春は、585名が卒業しました。そのうち、大学合格者が190名、就職者238名、専門学校99名、浪人58名となっております。なお昨年の卒業生のうち今春大学合格者は28名です。年毎に進路が厳しくなつ

ている状況の中で、特に大学進学が昨年よりも62名増となったのは特筆に値します。また、今年は中学卒業生が史上最高となったため、受験者も3258名となり、そのうち631名が入学いたし、現在1783名の大世帯でございます。

クラブ活動も相変わらず活発です。今春第二グランドの傍にテニスコート（三面）が完成し、硬式テニス部が誕生して、今後の発展が期待されています。現在、大阪大会を勝ち抜いて全国大会へ出場が決まっているのは、サッカー部と水泳部です。皆様ご期待の野球も、いよいよ本番ですが、甲子園への道はなかなか険しいようです。その他バレーボール部、陸上競技部も近畿大会出場を決めて頑張っています。

（母校々長 林 敏夫）

計報相いつぐ

あゝ！高月泰雄先生逝く

昭和62年6月22日、ご逝去 83才。
昭和61年～62年物故者（理事、代議員で御連絡のある方）

理 事	西田秀吉氏	62. 3. 16(第1回卒業生)
代議員	由上喜作氏	61. 12. 5(第4回 タ)
タ	津田健三氏	61. 9. 25(第15回 タ)
タ	橋本市治氏	61. 6. (第17回 タ)
タ	山本祿男氏	62. 5. 24(第10回 タ)
タ	内藤照旦氏	62. 3. 18(第10回 タ)

故津田健三君の思い出

彼は小柄で目立たない存在だったが、どこか一本筋金のとおった人物で、仁義に厚く、面倒見よく、交際範囲は広かった。

事同窓のことになると、真剣に自分のことのように行動し、決して表に出す彼ではなかった。会社の帰りにはよく立寄り色々情報を知らせてくれた。

私が昭和60年4月、胃手術のため入院中彼の経験を語り懇切ってくれたが、返ってそれが85才の私には悲しい思い出となつた。その当時見舞にくれた「石原完爾伝」は今彼の形見となって書棚から何か私に語りかけているように思われる。

ペンをとっている今、彼の生前のアノ無邪気な笑顔が瞼に浮び、ペンが走らない。

たゞ心から彼の冥福を祈るのみ。合掌。

（元母校校長 八沢慎好）

亡き西田君を想う

西田さんが亡くなられたとご家族の方からお知らせを頂いた時は本当に驚きましたと申しますのは亡くなる2日前の3月14日に吾々の商一会の幹事会で元気に打合せを済ませ、お別れした許りだったからなのです。平素顔を合せると年令なのですね、何日も健康の事など話題になり死ぬ時は家族に迷惑をかけぬ様「コロリ」と参り度いものだと笑い乍ら話しておったのが本当にアッケなくあの世へ旅立ってしまいました。恐らくこんなに早くコロリと参ろうとは思ってもいなかつたのではないかと思ふ。人の寿命とは誠に儻ないものだと心より思つたことです。昭和4年卒業以来彼に巡り合つたのは昭和58年6月で実に55年振りの対面でした。その時の感激は忘れる事が出来ません。彼は学校の信望も篤く第1回卒業生代表として理事も勤めておりましたので学校のパイプ役として私共の同窓会の会長に選ばれました。尚会名の北陽商一会は彼が命名したのですが何日迄も残るでしょう。最も印象に残るのは純粹とも思われる大阪弁での和らかな話振りでした。人柄なのでしょう、心温まる思いがしたものでした。その彼にもう逢う事も又懐しい大阪弁を聞く事も出来ません、本当に淋しくなりました。76才の天寿を全うし大往生を遂げられた西田さんは今天國で奥様と仲よく語り合つておられる事でしょう。重ねて御冥福お祈り申上げます。彼の人徳でしょう告別式当日は彼に応しい盛儀で稻野同窓会長始め学校からもお顔なじみの先生方の御参列で大変賑やかなお見送りでした。終りに大変お世話になりました事を心より厚く御礼を申上げますきようなら 合掌。（第1回卒 松村 豊）

62年度第10回代議員会開催さる

昭和62年6月20日(土)午後2時より、新大阪ガーデンパレスにおいて、北席者数72名、委任状出席103名、第10回定例代議員会を開催した。

1. 理事会開催(午後2時~2時30分まで)
代議員会開催について協議。
2. 代議員会開催(午後2時30分~3時30分まで)
 1. 代議員会次第(別紙)につき発表
 1. 代議員会開会のことば 藤井副会長
 1. タイムスリップ閉会のことば 阪本副会長
 1. 議長 田中道博氏 副議長 真壁和義氏
 1. 司会・議事答弁 事務局長(角野)
 1. 物故者(当日までに事務局で判明した理事代議員 6名)
 1. 新代議員の委嘱(2名)
小川昌雄氏、杉本次男氏

(代議員、欠員の補充、佐藤先生推薦)

1. 育英資金、会長と校長より挨拶の中で説明の旨、明細は事務局側より61年度事業報告の時に発表。

育英資金・募金総額 20,469,500円の内
同窓会募金総額は 9,011,500円

代議員会につきましては別紙資料の通り全て承認されました。

3. 午後3時30分より「特別談話」
「全国制覇の体験を語る」北陽サッカー部監督
野々村征武先生
4. 午後4時より、小宴会に移り、盛況裡に終る。

62年度 北陽同窓会予算案

(収入の部)

科 目	前年度実績	予 算
会 費	1,755,000	1,725,000
受 取 利 息	270,469	250,000
名簿売上・代議員会祝	23,800	
前 年 よ り 繰 越	8,090,838	8,211,602
計	10,140,107	10,186,602

(支出の部)

科 目	前年度実績	予 算
理事・代議員会議費	693,642	800,000
学校への協力金	200,000	200,000
人 件 費	525,000	500,000
旅 費・交 通 費	0	80,000
消 耗 品 費	16,229	100,000
通 信 費	84,200	100,000
印 刷 費	27,500	50,000
備 品 費	0	60,000
支 部 育 成 費	25,000	50,000
慶弔 費	125,800	100,000
予 備 費	231,134	200,000
次 年 度 繰 越	8,211,602	7,946,602
計	10,140,107	10,186,602

第1号議案 昭和61年度事業報告

- 昭和61年4月1日 新代議員に委嘱状発送
4月15日 監事・監査のため来校、監査終了
4月16日 理事、監事会
5月16日 第1回会報委員会
5月31日 第2回会報委員会

- 昭和61年6月11日 会長、副会長会
6月21日 理事会
6月21日 代議員会
8月5日 会報発送(第7号)
12月13日 理事会
昭和62年2月2日 会報委員会(第8号)



代議員会における稲野会長 の挨拶から……

1年ぶりに、久しぶりに、代議員の皆さん方の御元気な姿に接しまして、御同慶の至りに存じます。皆さん、こういうふうに、多数の方が、年に1回の同窓会の代議員会に出席して頂く。足を運んでいただいて、出席していただく。しかも、今年は会費まで頂戴して出席していただいて、もちろん、同窓相互の親睦ということもございます。けれども、やはり自分の母校を愛するといいますか、母校の発展、充実というものを、やはり同窓の立場から挺入れをしたいと、バックアップしてやろうということから同窓会の集いというものがあるんだろうと思っております。

私は、一昨年、関西大学の韓国の同窓会の集まりがございまして、ソウルに行ったんですが、関大の韓国の卒業生には、いろんな分野で非常に活躍されておる方が多数おりまして、その時も50名ぐらいの人達が集まつておきました。

日本の最高裁長官にあたる方もございました、釜山の商工会議所の会頭といっている方もお歴々の中におられました。それらの人の中で挨拶された中に私たちは国籍を移すことはできるけれども、母校というものを変えることはできないんだと、母校は一生つきまとるものだという挨拶をされたのを、私は今も感動をもって記憶しております。これは関西大学のみならず、我々北陽で学んだものも、私は同じだろうと思います。君の出た中学校はどこだ、君の高校はどこですかと言われたときに、大阪の北陽商業です。あるいは北陽高校ですといって、皆さんは答えられるだろうと思います。そして、その母校が発展、充実してくれるということを願って、何万の北陽の同窓生は、みなそういうふうに考えておるだろうと思うのでございます。そういうことを考えますと、私ども、北陽に学んだ同窓はやはり、自分の母校を愛し、母校の発展をこいねがつておるわけでございます。

私は私の学校を人が聞けば誇りをもって、北陽、今の北陽高校だと言いますと、ああ、あの野球の強い北陽ですか、サッカーの全国優勝した北陽高校ですかと、みんながよく知っています。これは、同窓として非常に有難いことですし、自分も誇りを感ずるわけでございます。

私立高校、まあ、大学もそうでございますけれども、私立学校というものは、一つの特色がなくてはいけないと思います。特に、私立学校、私立高校は個性をもつ必要があると思います。

もし、北陽に建学の精神があるのならば、糸島校

長の育てた教育方針だろうと思うのでございます。

北陽の校章(?)には、三つのホコがございます。知育、德育、体育の3つの教育を象徴するように、当時の北陽にはこの3つを象徴する教育の方針というものがつらねられておったように思います。今もそれは伝承、継承されて、今の教育方針になっておるやに承っておりますし、またそうでなくてはいけないと思います。先に60年の年輪を重ねて60年の式典を迎えた北陽は、商業学校から一時、戦時中には工業学校になり、また商業学校になり、そして今日の新制高校になっておるわけでございます。

今日お集まりの代議員の皆様方も、そういった母校を愛する気持ちから、今日のこの集いに集まつてきただいたと思うのでございます。こういったことから、同窓会の意味があり、そしてまた同窓会はもちろん、親睦の場でございますけれども、ある意味では、よい意味での学校への圧力団体であっても私はいいんじゃないかと思うわけでございます。私どもは直接に学校の運営に関係するものではございません。私は、同窓会を代表して、学園の評議員の一員に加わっておりますけれども、皆さん方の意向を反映すべく努力はいたしておりますけれども、学校の運営には関係いたしておりません。関係いたしておりませんが、何万の校友が、やはり立派な学校運営をやっていただきたいという念願を、皆同じようにもっておられると思うんでございます。

そういった意味から先般来、皆さんにもお願ひ致しておりますように、60年の記念事業として育英制度を学校が考へられた。我々同窓会も全面的に賛同いたしまして皆さん方にもご無理を申し上げました。後ほど、その運用につきましては校長先生からご説明があると思いますし、また、同窓会の集めました募金につきましては、後ほど事務局から議事の関連の中で説明すると思うます。

高い所からでございますが、その募金の協力に対しまして、厚く御礼を申し上げておきたいと思います。

会長としての御挨拶を申し上げました。

(稲野会長)

隨筆**玄関正面の「知徳体」の碑に想う**

古い昔の話になりますが北陽では昭和14年に故高尾忠男先生（旧姓田代・関大教授・商学部長）の御指導で書道部が誕生しました当時、私は1年生でした。部員（50名程度）一同熱心に習字の徳に努力いたしました。書道は精神の修養と心身の鍛錬法として古来から伝えられています。

私は在学中三越百貨店の書道展に出品して入選した事を記憶しております。以来半世紀にわたって書道に研鑽を積んでまいりました。この書道が再び北陽で正課なり、クラブで復活することを先駆として

願ってやみません。

さて今からちょうど9年前、母校の佐藤先生を通じて林敏夫校長より、記念碑の題字に建学の精神である知徳体を書いて下さいとの御依頼がありましたので、快くお引き受けさせていただいた次第です。つまらない字では御座いますが、母校へお立寄りの折にはぜひ見て下さいませ。

最後に同窓生諸兄の御多幸を祈ってやみません。

（日本教育書道連盟審査員 田中義信（信石）

18年卒）

第七号会報協力者

前号の会報協力者のお名前は下記の通りです。（敬称略、昭和62年5月15日現在）

眞壁和義、伊闌嘉則、浅田明廣、辻勝、山崎勝也、島村昌樹、池田一夫、藤滝昇、瀬川三郎、柴田章平、柳瀬正三郎、味舌十七、福島嘉雄、斎藤二郎、福武喜與次、菱谷二郎、森田寿一、足立英二、湯城昌彦、多田光男、鈴鹿敏男、西村貞彦、城島末明、宇佐美三郎、橋本幸弘、金村正吾、池田誠、森井俊一、浜口裕之、篠木力、見市弘行、川崎英彦、吉田健、吉田典生、赤沢美佐男、中川茂夫、新井敏男、坂千次、塩谷半一、沢田章一、藤川幸夫、田川栄次郎、塚口英一、荒木道幸、荒木紀雄、福島亮、寺西克英、松本鶴夫、山本祇男、吉田稔弘、田中平治、松田理一、山本雅二、吉田靖幸、渡辺章、岡田耕一、良原文藏、清野徹、北島光男、椎江博、長岡宏、平尾秀雄、岡田直三、荒木俊夫、増谷和也、神尾正生、印藤貞夫

高井敏行、増田嗣夫、杉谷丸彦、奈良崎友之、林時也、柄尾修一、大津潤、出口幸男、松尾清、中村正栄、杉本庄七、佐近宏、西垣友夫、小宮茂、井沢秀二、森川浅一、豊田伊佐吉、西山三男、鈴木彰、小林雅春、半田直也、藤井常夫、本田彰、高橋巖、阪本宏樹、西半誠一、山下忠男、増田正彦、松原正、山口保、小西勝美、上野修、河田素拓、板井紀、小谷輝夫、土本一夫、淡谷輝、谷勇三、酒井順、平井道大、三ヶ山孝一、富室幹之助、谷畠和宏、岩本春雄、常喜暉勇、一色義三、石田修、米倉修一、吉田周次、栗梅治、上田仁一、佐野正和、安原寛明、日和達之、福島頼夫、松本伊三男、佐野良晴、井手正也、大坪賢治、岡野弘、上田広次、原和則、宮田誠一、中川要裕、茨木市役所北陽会、橋本亨

育英資金その後の協力者氏名

（昭和62年5月15日現在）

現在までに心温まる御協力を下さった教職員関係及び会員諸氏は次の通りあります。（敬称略）

30万円 藤井文太郎

20万円 ボクシングOB会

10万円 中野文吉

5万円 杉本庄七

3万円 見市弘行

2万5千円 藤滝昇、下村萬治

2万円 中田永一、東山敏民、橋本亨、荒木俊夫、神尾正生、大津潤、宮永康之、岩本春雄、宮田誠一

1万5千円 奈良崎友之、本田彰、増田正彦

1万円 島村昌樹、池田一夫、塙田修三、柴田章平

菱谷二郎、鈴鹿敏男、多田光男、吉田典生、浜口正

之、新井敏男、沢田章一、中川好司、萩山勇、豊田猛義、塚口英一、荒木紀雄、松本鶴雄、松田理一、吉田稔弘、沼尾暉、良原文藏、渡辺章、長岡宏、椎江博、北島光男、清野徹、平尾秀雄、印藤貞夫、木原義一、佐近宏、森川浅一、半田直也、阪本宏樹、松原正、山口保、上野修、法柏信明、中尾喜一、板井紀、土本一夫、有馬季浩、白高孝行、谷勇三、淡谷輝、岡野弘、真號和義、佐野正和、石黒信行、永野悦治郎、大坪賢治、樋口順一、田村恒雄、伊闌嘉則、上田広次、福島頼夫

5千円 沢田寿一、川崎英彦、池田誠、森井俊一、赤沢美佐男、吉田靖幸、並部義幸、小林雅春、西半誠一、酒井順、金沢紀佐男

3千円 安原寛明

職場訪問

その1

私達の母校「北陽」が幾多の変遷を経て一昨年、創立60周年という輝かしい節目を迎えるされましたことは卒業生の一人として誠に嬉しく存じますとともに心からお喜び申しあげます。

今回、発行されます会報「北陽同窓」にはじめて私達が勤めております吹田市役所の卒業生のことを記させていただくことになりました。このことにつきましては先日、私達卒業生の先輩で吹田市議会議員をしておられる阪本議員より佐藤先生をご紹介いただきましたのがきっかけとなり、同先生よりの母校のことをはじめ恩師や卒業生の方々の近況などをなつかしく伺ったところでございます。

また後日、送っていただきました会報を拝見いたしまして北陽同窓OB諸兄におかれましての素晴らしい御活躍ぶりに感嘆いたしている次第でございます。

現在、吹田市役所には北陽卒業生は阪本市議会議員をはじめ私の知るところでは16~17人おられます。市役所、水道、病院、そして消防にと広範囲に30人近くの職員の方々が勤められておられ、すでに退職された先輩卒業生の方々も多数おられたと伺っております。私達の職場では卒業生の皆さんのが集つての会といったものはまだございませんが、皆さんそれぞれに元気で御活躍されておられます。

一度機会がありましたら気軽に集つて各々の学生時代といった母校での想い出を語り合つてみたいと思っております。

こういったところが私達の現況であり、また機会がございましたらご報告させていただきます。

終りに、北陽高校と北陽同窓会の今後ますますの御发展と北陽同窓OB諸兄の御健勝を心からお祈り申しあげます。
(吹田市役所勤務 卒業生)

その2

当社は、日清製粉の関連会社で資本金19億1千万円、本社は東京で、工場は大阪など4ヶ所です。東京証券取引所の2部に上場している会社であります。

現在、母校卒業生は16名で、各分野で活躍しています。私達は母校の卒業生として恥じない不断の努力と責任ある行動をとり北陽高校はすばらしいと言われるよう全員一丸となって取り組んで行きたいと思います。

卒業名簿

北陽高等学校

在籍者一覧表 (S 61.7)

氏名	入社年月	職種
稻津 忠	42年4月	本社経営管理課
尾野 順三	42年4月	総務課
西田 和夫	45年9月	大阪営業所
木村 充男	46年4月	大阪営業所
重野 雄二	47年4月	食品製造第一課
西村 光幸	48年4月	オリエンタル電気
樋口 芳之	48年4月	オリエンタル電気
金子 秀樹	52年4月	大阪営業所
林 勝	53年4月	高松営業所
喜津木 博美	54年4月	神戸営業所
岡田 誠	55年4月	大阪営業所
葦原 博明	55年4月	大阪営業所
山田 勝治	58年4月	大阪営業所
相澤 良夫	60年4月	大阪営業所
井上 俊哉	60年4月	生化学製造
中田 正広	62年4月	生化学製造

同窓情報報

当選おめでとう!!

兵庫県会議員に加茂 勉氏(昭和20年卒)
吹田市会議員に阪本隆夫氏(昭和15年卒)

次期の必勝を祈る

大阪府会議員選舉に立候補、残念ながら惜しくも次点となられました杉本庄七氏(新制第1回卒)

教職員動静

・退職者

西田裕之 62年3月31日退職
〒552 大阪市港区八幡屋3-10-4-313
☎ (06) 572-7249

・新任者

山添 修
〒532 大阪市淀川区宮原2-13-12-807
☎ (06) 391-0712
奈良大学文学部卒

母校クラブだより

水泳部近況報告

本校水泳部からの近畿・全国への出場歴は別記の通りである。私が本校に就任した頃と比べ、現在ではかなり競技レベルの高いチームへと発展して来た感がある。念願の全国高校へは、ここ数年連続出場している。大阪大会では、大会新や3位内入賞もできるようになってきた。総合成績をみても全国優勝をしている近大附属高を筆頭に、初芝高に次ぐ成績を修めている。

しかし今後の競技スポーツの発展は現状では厳しいものがある。又、頗るくば私共の使用しているプールなどは、地盤沈下や老朽化が著しいので未来のスポーツ教育の向上のためには是非とも設備の改善を計ってほしいものである。

スポーツは人間の生き方を教えてくれると自分で考え、実際に体を動かし、その過程の中で色々な事を発見する。そして、生きる為の勇気と自信も養うことができる。私は、この北陽で多くの生徒達にその機会を与えたく思っている。その為には、学校経営者及び教職員のスポーツに対する理解が必要である。

(監督 石坂喜一)

水泳部の近畿・全国出場歴

〈飛込の部〉
全国高校総体
S 43・44・45年 団体総合 各3位・2位・優勝
〈競泳の部〉
全国高校総体
S 56・57・59・60・61年
日本室内選手権
S 57・59・61・62年
全国J・O (春・夏)
S 56・57・58・59・60・61・62年
(春・夏、通算11回)
近畿高校
S 50・56・57・59・60・61年
国際大会代表選考会
S 61・62 (本年度も2名出場)
国民体育大会
S 60・61年

大阪高校大会

中央大会(近畿予選) S 61年総合第3位
高校新人 S 60(総合3位) S 61(総合準優勝)
私学高校 S 60・61(総合準優勝)

古代史の旅

「韓国を訪ねて」

史蹟研究部

昨年の夏、史蹟研究部は創設以来はじめて韓国合宿に行きました。「韓国にいける」とは言つても、観光に行くのではなくあくまで勉強に行くので、やはりそれなりの予備知識を備えておくため部員全員で、韓国に関する書物をあさり、韓国観光社(大阪)を訪ね資料をもらい、僕達なりの準備を致しました。

7月24日、大阪国際空港から飛行機で約1時間余りで、韓国釜山に着きました。まず第一印象は「田舎」という感がしましたが、バスで釜山市街を走っているとしだいに、大阪で言うならば東大阪のような町並に感じ、都会らしくなってきました。釜山博物館に着く、館内は薄暗く日本の博物館と共通の雰囲気をもっていた。この博物館で一番感動したのは韓国最古の古代壁画の拓本でした。この拓本にはいろいろな動物(魚・鹿・猪・人物など)が描かれていて、その大きさは5メートル四方ぐらいあり紀元前2世紀ごろに描かれたものらしく、一つ一つがはっきりしていてとても素晴らしい壁画だった。この壁

画は洛東江の冬の渇水期にしか見られないとか。残念実物が見たかった。次に訪ねたのは、加羅の國を建国した金首露王陵で、この王陵は、1400年前に造られたものだそうです。普通、日本の古墳の周りは濠がめぐらしてあるが、韓国では立派な堀が王陵を囲みいくつもの門があった。その門は沖縄で見た寺院の色彩とよく似ていた。王陵は円墳で全面に芝が植えられており、日本古墳のような雑木は一本もなかった。韓国では、それぞれ王陵埋葬者の子孫が今でも丹念に手入れをしているそうです。だからいつまでも築造当時のままで保存されているし、破壊もなくとても日本の古墳とはくらべものにならませんでした。

2日目は、新羅千年の都慶州を訪ね、最初に掛陵に行きました。円墳で周囲が護石(切石)で築かれ護石には十二支像が刻まれており、陵にいたる参道には石獅子二対と文人石像、武人石像が向かい合って配されている。韓国古式古墳の形態をよく残していた。次に九政洞方型墳を訪ねました。方形墳は韓国で唯一の古墳で他に例がないそうです。掛陵と同様十二支像が腰石に刻まれていました。次は仏国寺6世紀初め25代法興王により創建された寺院で、ケタはそれにすばらしい建築物です。仏は人よりも偉いので、仏の国という意味で建てられたらしく石組

同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 (名称) 本会は北陽同窓会と称する。
- 第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り母校の発展に寄与すると共に社会公共に貢献することをもって目的とする。
- 第3条 (事業) 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行なう。
1. 会報及び会員名簿の発行
 2. 総会の開催
 3. 母校の発展に寄与する事業
 4. その他必要な事項
- 第4条 (本部及び支部) 本会は本部を北陽高等学校同窓会室におく、支部は必要な地域又は職場に設けることができる。本部に事務局を置き本会の事務を処理する。
- 第2章 会 員**
- 第5条 本会の会員は次の通りとする。
1. 正会員(北陽商業学校、北陽工業学校、北陽中学校及び北陽高等学校の卒業生
①上記学校に在学した者で理事会の承認を得た者)
 2. 特別会員、母校の現職員並びに旧職員
 3. 名譽会員、母校もしくは本会に特別の関係ありと認め理事会で承認を得た者
- 第3章 役員及び役員会**
- 第6条 1. 本会に次の役員を置く
- (1) 名譽会長 1名 (母校の現校長)
 - (2) 会長 1名
 - (3) 副会長 3名以内
 - (4) 会計 2名
 - (5) 監事 2名
 - (6) 事務局長 1名 事務局次長 2名
 - (7) 理事 若干名
 - (8) 代議員 若干名
 - (9) 諸問、相談役 若干名
2. 役員の任期は3年とする。
但し再任を妨げない。

(10頁より)

み技術はすばらしいものです。そして安置されている仏像は全て、頭からあぐらをかいた膝まで二等辺三角形になるよう造られている。他にも新羅石造の代表といわれる多宝塔など、見るもの全て「すごい」と声を出してしまうほどすばらしい物ばかりです。仏国寺は特に印象深い所でした。次に慶州博物館へ博物館には新羅千年の歴史を持つ出土品が展示され日本文化の源流を目の当たりに見ることができました。また世界一の名鐘聖徳大王神鐘も思い出に残る1つです。次に瞻星台、これは東洋最古の天文台で、1年をあらわす365個の花崗岩を積み上げて造ったすばらしい石造技術だと思った。次に天馬塚、塚は盜難防止のためか川原石を積み重ねて造られているめずらしい円墳で、名前の由来は、韓國最古の天馬、(白馬) 図が出土したことから、天馬塚と名付けられたそうです。その他、新羅の宮城(半月城) 武烈王陵、銅石亭、芬皇寺等を見学致しました。3日目は慶州から百濟都扶余への移動日なので、多く見学できなかったが、特に百濟王離宮の宮南池は夕方に訪ねたので、夕日に輝き美しい景観でした。宮南池は日本庭園のモデルだそうです。他に是非とも紹介したいのが、百濟25代武寧王と王妃合葬陵(6世紀

第7条 1. 会長は代議員に於いて選出される。

2. その他の役員は会長これを委嘱する。

第8条 (任務) 1. 会長は会務を総括する。但し緊急必要案件が生じ代議員会を召集するいとまなき時は理事会の議を経て会長これを先決する事ができる。

2. 副会長は会長を補佐しその代理を務める。

3. 会計は会の財務を処理する。

4. 事務局長は本部事務局を組織し、会長の指示を受け、会に関する事務全般を処理する。

5. 理事会は会務を執行し会の運営上別に内規を定める。

6. 代議員会は次の事項を審議する。

(1) 事業計画及び予算の承認

(2) 事業報告及び決算の承認

7. 理事会及び代議員会の議事は出席者の過半数をもって決し可否同数の場合は議長これを決する。

8. 監事は会計を監査する。

第4章 会 計

第9条 本会の経費は会費寄付金、その他の収入をもってこれに充てる。

第10条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日迄とする。

第11条 (会費) 本会の正会員は会費を分担するものとする。

第5章 総 会

第12条 総会は会長これを召集し代議員会をもってこれに代える事ができる。

第6章 支 部

第13条 本会は支部を設ける事ができる。支部長は支部を統括し本部にその会則役員名その他重要事項を報告し連絡を密にしなければならない。

第7章 会則変更

第14条 会則の変更をしようとする時は、会長は理事会の議を経て総会の承認を得るものとする。

第8章 附 則

第15条 その他定めなき事項は会長が理事会にはかり、これを決定する。

第16条 本会則は昭和54年9月22日よりこれを施行する。

初) です。墳(煉瓦)を積んだアーチ状充室、盗掘をまぬがれた百濟王の副葬品の豊かさ、金製冠飾、耳飾、装身具などなどすばらしいものばかり。

百濟は日本と一番密接な関係にあり、9本の古墳文化、飛鳥仏教芸術に大きく貢献。新羅と百濟をくらべてみると、新羅(慶州)は屋根にしても直線的に表現し、百濟(扶余)はその逆で屋根も丸みを帯びていて曲線主体で表現している。人の性格も異なる感がした。これは住んでいる地形のちがいであろうか、慶州は険しい山と荒涼しい日本海に面し、扶余は周りを滑らかな山で囲まれ海は内陸深くいいこんだ形になっており、波が穏やかで自然にめぐまれている。そのため人も温厚になったようです。

この文は韓国合宿のほんの一冊です。全てを書くと1冊の冊子ができてしまうほどたくさんあります。そして頭に入りきれないほどの遺跡、出土遺物を見て、また一生忘れられないようなカルチャーショックも受けできました。もう一度行って徹底的にすみからすみまで踏査してみたいのです。しかし2度目は今回ほどの感激は味わえないかもしれません。とても素晴らしいところでした韓国は。

今年もやった演奏会 吹奏楽部

毎年行なっている我々吹奏楽部の演奏会、今回は今迄と違つて薫英高校吹奏楽部との合同演奏会となつた。

初めての顔合わせ、正直なところ、うまくいくだろうか、という不安があった。まず選曲、会場探し日程、その他細々した内容の取り決め…初めて会つた人と一緒に一つのことを達成するということが、これほど不安定だとは、思つてもいなかつた。

実際、もっと簡単に考えていた訳だが、練習や計画の意見の食い違い、予定と実際とのギャップ等、幾つも問題が持ち上ることがあった。「こいつは難し過ぎる」と諦めたり、同じ練習のくり返しに嫌気がさしたり…。それでも、毎土曜日曜は合同練習

にあて、その他の日は各人や各楽器のパート練習にあて、しつこいくらいに練習をくり返した。そんな練習だったが、同じ目標に向つている、という連帯感からか、初対面の人達ともやがて打ち解けた1ヶ月も過ぎると練習も軌道に乗り、まだ問題もあつたが、「これはいける」という活気がみんなに現われてきた。練習も日に日に熱を帯びてきた。

そんな3ヶ月間の練習の末、昨年6月19日、吹田メイシアターで幕が開いた。緊張と不安、ここまで来れた安堵と期待、そんな気持ちがゴッチャになって、指揮棒がかすんで見えた。客席は野球部やサッカー部の人達も聴きに来てくれていて、満員だった。

初対面の人を含めた何人もの仲間で、1つのことに取り組み成功させた巨大な力と、当日、会場に足を運んでくれた人たちに、幕が下りてから改めて感激した。

陸 上 部

我が陸上部は、長距離9名、短距離7名の合計16名のクラブです。

クラブ成績を簡単に発表致します。まず長距離で

は全国高校駅伝大阪予選11位。短距離では3年生下垣君が大阪私学大会において100m 11秒1で3位、保地君高とび2m 09大阪1位、槍投げの平岡君も56m 80で2位とますます成績をあげており全国大会を目指してがんばっています。

北 陽 魂

柔道部

柔道部は着実に強くなっていると、僕を始め部員一同がそう思っているにちがいない。去年の2月、学年別大会でベスト8に入り、「北陽復活」と言われ、練習試合も多くなり、着実に力をつけてきた。しかし、6月に行なわれたインターハイ予選では、1回戦こそ大勝したが2回戦で惜敗した。この大会は3年生にとって最後の試合だったのでぜひ、優勝したかった。そして、この悔しさを次の試合に向けて毎日練習をした。夏休みに入り、小豆島に(宿)行つた。北陽以外にもあと3校合同合宿を組みレベル・アップをはかった。試合をしても北陽が群をぬいて強かった。この合宿は大成功だった。しかし、

国体予選でまたも2回戦敗退。「これではだめだ」と全員一丸となって毎日厳しい練習に耐えて来たかいあって、北地区大会、第3位。この試合はレギュラー2人が欠場したのにかかわらず、1年生が大活躍しました。「1年生に負けるものか!」と2年生も立ち上がり、毎日厳しい練習をしました。そして11月に行なわれた府下新人柔道大会で第3位に入賞中央大会に進出し、近畿大会までもう手のとどく所までにきました。僕達の目標はもちろん『全国大会出場』です。今まで、「全国大会なんか絶対無理や」の思っていたわが今ではもう『夢』ではなくなって来ている。それを思うと練習にも活気が入ってきます。

そして、この北陽柔道部を近畿・全国へと飛躍する為にこれからもがんばります。

ハンドボール部

ハンドボール部は、今年から新ルールにかわったので、練習内容もこくなつて、一人一人の精神面体力面ともに、強化され、めきめきと実力をあげています。今年の戦績の結果はインターハイの地区予選で優勝しました。

全国大会を目指して毎日練習にはげんでいます。



<p>茨木市立東雲地区公民館長 田 中 道 博 (S 20年卒) 電話 (0726) 32-7870</p>	<p>さわや生菓子舗 代 表 浜 田 康 雄 (S 41年卒) 摂津市千里丘東2-10-21 電話 (0726) 22-2908</p>
<p>貸倉庫業 モータープール 平 野 正 勝 (S 18年卒) 平 野 耕 治 (S 49年卒) 豊中市南桜塚2-2-2-6 電話 (06) 852-5254</p>	<p>ジュエリ&ファー ウ イ ズ 浦 田 好 (S 16年卒) ■さんくす店/吹田さんくす2番館2F 吹田市朝日町2番207 電話 (06) 381-0303</p>
<p>東急観光 東京都京橋営業所 所長 十 時 良 雄 (S 37年卒) 電話 (03) 561-9501</p>	<p>松城石油(株) 代表取締役 松 城 友 一 (S 20年卒) 茨木市稻葉町19-15 電話 (0726) 34-0155</p>
<p>各種自動車部品 タカオ力産業 代表者 高 岡 繁 (S 42年卒) 尼崎市梶ヶ島6番地 電話 (06) 488-0625</p>	<p>日本書道美術館参与 文化書道学会同人 田 中 義 信 (S 18年卒) 吹田市山手町2-13-30 電話 (06) 388-3164</p>
<p>旧高槻藩御用菓子司 (株) 田 辺 屋 社長 伊 藤 学 (S 18年卒) 高槻市上田辺町5-18 電話 (0726) 85-0256</p>	<p>株式会社 う を 清 本店料亭・大阪市東区北久太郎町5の18 電話 (06) 252-7300~2番 西区立売堀・千里中央・千里セルシ・虹のまち 新大阪駅・鴻池駅前 代表取締役 津 田 真 治 (S 16年卒)</p>

社団法人 全国警備業協会会員
杉本警備保障
 代表者 杉本次男
 (S 18年卒)

電話 (0720) 34-5896

<p>(財)電気通信共済会 近畿支部 卒業生25名</p> <p>代表 古布淳 (S 36年卒)</p> <p>電話 代 (06) 944-7008</p>	<p>大和銀行我孫子支店</p> <p>支店長 山田泰成 (S 29年卒)</p>
<p>日産石油販売株式会社</p> <p>総務部副部長 足立宗央 (S 42年卒)</p> <p>電話 (06) 341-0045代</p>	<p>株式会社 ホテル阪神 第二営業部宴会課</p> <p>課長 栗原貞雄 (S 42年卒)</p> <p>電話 (06) 344-1661</p>
<p>中尾(株)</p> <p>代表取締役 中尾晴郎 (S 23年卒)</p> <p>電話 (06) 381-5512</p>	<p>伊藤銀証券株式会社 第二営業部第二課長</p> <p>片山茂美</p> <p>電話 (06) 228-4300</p>
<p>昭和18年卒業 北陽商業学校第一本科 第16回卒業生同窓会有志</p> <p>世話人 真壁和義(一夫)</p> <p>電話 (06) 321-0025</p>	<p>昭和17年卒業 北陽商業学校第一本科 第15回卒業生同窓会(有志)</p> <p>会長 北秋一</p> <p>電話 (06) 852-5566</p>

塗装工事請負・看板製作一式

近畿郵政局・吹田市指定業者

寺 田 美 研

寺 田 賢 作 (S 42年卒)

吹田市高浜町4番7号

電話(06)381-2401代

芦屋大学

教 授

貴 島 正 秋

(S 34年卒)

大阪工業大学

教 授

小 林 信 次 郎

(S 27年卒)

大阪自動車工業株

代表取締役

柳 原 恒 郎

(S 35年卒)

大阪市淀川区新高4-7-16

電話 (06) 395-0381代

(株)シンクセンス

代表取締役社長

須 上 好 行

(S 40年卒)

神戸市東灘区御影山手1-19-7-103

電話 (078) 851-3343

田川鉄工所

代表者

田 川 栄 次 郎

(S 13年卒)

大阪市此花区西九条3-9-10

電話 (06) 463-2771

ベビーチャイルドショップ 奈良赤ちゃん

代 表

渡 辺 章

(S 13年卒)

奈良市下三条町14

電話 (0742) 22-4288

(株)スーパー・サンエー

取締役店長

多 水 善 和

(S 44年卒)

売店受託経営 売店総合商品卸

心 幸 株 式 会 社

代表取締役 高 山 強

(S 4年卒)

尼崎市西長洲東通2丁目6-2

電話 (06) 488-5201

<p>とうふ料理 いっぷく亭</p> <p>〒637 大阪府岸和田市西条4丁目 (難波・堺筋沿線) 電話 (075) 954-7777 (毎週火曜日定休日)</p>	<p>良心的な建築を誇る中亀グループ 建築工事一式 宗教建築 分譲地 中亀建設株式会社</p>	<p>肉料理 千成</p> <p>〒530 大阪市北区鶴橋筋1-5-15 (御堂筋沿線) 電話 (06) 341-2329 (日程・祝日定休日)</p>
<p>本社 / 〒533 大阪市東淀川区東中島5丁目28番17号 電話 (06) 322-1419・325-1419 京都営業所 / 京都府向日市寺戸町西田中瀬1番地(阪急東向日駅前) 電話 (075) 921-4419</p>	<p>ケンコー薬局</p> <p>代表者 山本義夫 (S 30年卒)</p> <p>高槻市松ヶ丘2-4-27 電話 (0726) 87-5295 (0726) 85-8300(自宅)</p>	<p>川砂、建築材料一式販売</p> <p>(株)三野商店</p> <p>代表取締役 三野英男 (S 30年卒)</p> <p>吹田市南高浜町35-1 電話 (06) 383-0062</p>
<p>お申込み・お問合せは</p> <p>京阪交通社</p> <p>修学旅行センター</p> <p>東 朗 (S 46年卒)</p> <p>電話 (06) 228-1691</p>	<p>シンワ印刷所</p> <p>代表者 坂本嘉孝 (S 34年卒)</p> <p>大阪市城東区成育5-21-11 電話 (06) 931-6618</p>	
<p>松原紙株式会社</p> <p>代表取締役 松原正 (S 18年卒)</p> <p>営業所 東大阪市長田中3の168 TEL 06-746-2251</p> <p>本社 富田林市若松町東3丁目7の45 TEL 0721-25-4415</p>	<p>(有)犬飼興産</p> <p>代表取締役 犬飼兵一 (S 15年卒)</p> <p>吹田市広芝町4-32大和ビルディング 電話 (06) 386-2556</p>	
<p>豊中カクタス(株)</p> <p>代表取締役 小寺恒雄 (S 18年卒)</p> <p>豊中市北桜塚4-17-1 電話 (06) 854-0089(代)</p>		